旭川市立末広北小学校　学校だより　令和８年１０月１５日　第５５号

北っ子

子どもたちを笑顔で迎え　笑顔にさせ
家庭・地域に帰します！

◇教育目標：人・社会・未来へつなぐ Well-being
◇重点目標：学ぶ楽しさを見つけ、よりよい考えを表現できる子の育成

「鳴かぬなら…」から考えるこれからの学び

校長　大　野　昌　広

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

朝夕の冷気にも一段と秋の深まりを感じる頃となりました。校庭の木々が赤や黄に美しく色づき始めるように、子どもたちの姿にもたくましい変化や成長が見られるようになってまいりました。日々、元気に登校し、友達と学び合う子どもたちの姿を見ていると、一人ひとりが秘めている可能性の大きさに胸が熱くなります。

さて、皆様は戦国時代の三英傑……織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の性格を表した、あの有名な句をご存じでしょうか。

「鳴かぬなら　殺してしまえ　ホトトギス」（織田信長）
「鳴かぬなら　鳴かせてみせよう　ホトトギス」（豊臣秀吉）
「鳴かぬなら　鳴くまで待とう　ホトトギス」（徳川家康）

目の前に「鳴かないホトトギス」が一羽いるとき、３人がそれぞれどのようなアプローチをとるかを描いた句です。

信長は、思い通りにならないものを即座に割り切るスピード感を。

秀吉は、工夫や知恵を凝らして相手の意欲を引き出し、動かす情熱を。

そして家康は、焦らずあきらめず、じっと成長や変化の時期が訪れるのを待つ思慮深さを表しています。

歴史の文脈を離れ、教育の場としてこの句を読み直したとき、「目の前にいる子どもたちに、私たち大人はどのように向き合うべきか」という大切な問いが浮かび上がってきます。

現代社会は、AIをはじめとするテクノロジーの進化やグローバル化に伴い、予測困難で変化の激しい時代を迎えています。このような時代にあって、学習指導要領でも重視されているのが、子どもたちが自ら未来を切り拓くための「生きる力」の育成です。

本校では、子どもたちや保護者・地域の実態に即し、リアルな社会とつながる未来型の学びを切り拓いていきたいと考えております。

末広北小学校が目指す教育　～リアルな社会とつながる未来型の学びを拓く～

1　問いを見出す力 …… 社会や身の回りから、真の課題を見つけ出す
2　発信し響き合う力 …… 情熱とスキルで、壁を越えて想いを届ける
3　挑戦しやり抜く力 …… 失敗を恐れず、常にベストを尽くす
4　乗り越え協働する力 … 対立や葛藤を力に変え、共に歩む
5　高め合い紡ぐ力 …… 他者の強みを取り入れ、最善の解を共に創る

こうした「生きる力」は、大人が答えを教え込んだり、思い通りにコントロールしたりするだけでは決して育ちません。ここで重要になるのが、三英傑の句が教える「関わり方のバランス」です。

子どもが壁や課題にぶつかったとき、大人が短気になり「なぜできないのか」と突き放してしまっては（信長型）、子どもの挑戦心は挫けてしまいます。学校教育が目指すのは、秀吉のような「鳴かせてみせよう」とする工夫と仕掛けです。子どもたちが自ら「知りたい」「やってみたい」と思える体験的な学びの場を用意し、対話を引き出し、安心して発信できる環境を整えること。これが学校の役割です。一方で、子ども一人ひとりの成長のスピードは様々です。ここで欠かせないのが、家康のような「鳴くまで待とう」という、家庭や地域での温かい眼差しです。芽が出る時期は子どもによって異なります。すぐに成果が出なくても、焦らず可能性を信じ、じっくりと寄り添い見守り続けること。ご家庭や地域での「待つ教育」や「安心できる居場所」があるからこそ、子どもたちは失敗を恐れず、何度も立ち上がり挑戦することができます。

学校教育による「成長を引き出す関わり（秀吉型）」と、家庭・地域社会による「温かく信じて待つ育み（家康型）」。この両輪がしっかりと噛み合ってこそ、子どもたちはどんな時代であっても、たくましく「生きる力」を身につけていくことができます。

子どもたちがいつか大きく羽ばたき、自分らしい声を響かせて未来へと飛び立つその日まで、保護者の皆様、地域の皆様と共に知恵を絞り、じっくりと成長を支えてまいりたいと考えております。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

たくさん集まりました!



学校だより８月号で、４年生の学習「届けよう　服のチカラ　プロジェクト」に伴う古着回収にかかわるお願いをしたところ、保護者・地域の方から、たくさんの服が集まりました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

また、先日、古着回収箱の設置を依頼していた、「末広第二こども園」に訪問し、集まった服を受けとってまいりました。この活動には、校区の「道新たかはし新聞店」様にもご協力をいただきました。

今後、集まった服は段ボールに入れて、ユニクロを通し難民支援として発送します。

3年生　防災センター　警察署見学



９月２５日（金）、３年生が、防災センターと警察署に見学に行ってきました。防災センターでは、見学しているまさにその最中に、１１９番通報が入り、対応している様子を間近で見ることができました。警察署では、交通管理センターを見学させていただきました。

これからは、見学を通して学んだことを生かし、命を守る仕事をしている人の仕事内容や工夫などについてまとめていきます。

マラソンの取組

９月に全校で「マラソン」の取組を行いました。中休みに、子どもたちが元気よくグラウンドに出て汗を流しました。走り終わった後には、「また走ろう」という前向きな声がたくさん聞かれました。10 月になり、取組は終わりましたが、みんなで心地よい汗を流すことができました。







電話対応の時間設定について

日頃より、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、全国的な教職員の働き方改革に伴い、本校におきましても教職員の勤務時間および子どもたちに向き合う時間の確保を目的として、下記のとおり電話対応時間を設定することといたしました。指定の時間帯以外は自動音声が流れ、原則として電話がつながりませんのでご了承ください。

本校の保護者の方々にはすでにお伝えしていますが、教職員の働き方の取組は、地域の方々のご理解とご協力が必要不可欠と考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

電話対応時間帯　　平日：7 時 30 分 ～ 17 時 30 分